

ボラサポ2 被災地住民支え合いサポート募金 活動事例

収穫祭を通しての地域住民と被災者の交流

●福島県安達郡大玉村●

団 体 名：一般社団法人ちろる

活動実施日：2018年10月29日

石倉団地住民と二本松地元住民の世代間交流を目的に、交流会を実施しました。

二本松市内にある学童保育グリーンキャンパスの子どもたちと本法人が協働で育てていた石倉団地前の畑のサツマイモを掘り、二本松市でボランティア活動をしている方々10名と石倉団地の方10名と一緒にいも煮を作りました。



グリーンキャンパスの児童たち25名および先生5名と、安達高校の3年生35人、石倉団地住人30名、表団地5名、二本松地元民20名と一緒にいも煮を食べて、同じ地域に住む者同士、交流を深めました。

参加者の声 /

- ・いも煮がとてもおいしかったです。
- ・こういう機会でもないと、復興公営住宅の集会所には来られないので、浪江町の避難している方がどういうところに住んでいるのかを知る良い機会になりました。
- ・普段は受験勉強一色ですが、自分たちよりも年下の子どもたちと遊んで、体も動かすことができ、リフレッシュすることができました。

寄付者へのメッセージ

今回、ボラサポ2の助成により、全国の皆さまがご寄付してくださった貴重な浄財を活用させていただき、収穫祭を通しての避難者と地元民の交流事業を実施することができました。また、地元の子どもたちや高校生にも多く参加してもらい、同じ釜の飯をすることで、絆が生まれたと思います。本当にありがとうございました。